

## 第1回各務原市学校建替基本方針策定委員会 議事要旨

日 時 令和4年8月10日(水) 13時30分より  
 場 所 産業文化センター2階 第3会議室  
 出席委員 鈴木賢一委員長、服部吉彦副委員長、福島茂委員、奥村美樹恵委員、  
 佐藤幹彦委員、篠田勲委員、熊崎健二委員、阿部雄介委員、杉山幹治委員、  
 尾関加奈子委員  
 欠席委員 なし

### 1. 委員の委嘱・自己紹介

加藤教育長から各委員に委嘱状が手渡された。

### 2. 議題

議題1 委員長・副委員長の選出

議題2 「会議の公開等に関する要領(案)」について

議題3 事業の概要について(学校建替基本方針策定)

### 3. 今後のスケジュール

#### 議事録(要旨)

##### 議題1 委員長・副委員長の選出

###### 資料① 附属機関条例・指針(抜粋)

事務局	(「各務原市附属機関設置条例」第6条第1項の規定に基づき、委員長及び副委員長を互選により選出することを説明)
委員	鈴木委員にお願いしてはどうか。
事務局	鈴木委員を委員長にという意見が出たが、どうか。
委員	(賛成全員)
事務局	本委員会の委員長は鈴木委員に決定する。
委員長	(就任挨拶)
事務局	続いて教育委員会からの諮問を行う。 (加藤教育長から諮問書が手渡された。資料② 諮問文面)
事務局	(副委員長の決定について説明) (本会議の傍聴希望があったため、傍聴の可否の判断について説明)
委員長	議事進行をさせていただく。まず副委員長を決めたいが、どうか。私の方から服部委員をご推薦したいが、いかがか。
委員	(賛成全員)
委員長	本委員会の副委員長は服部委員に決定する。
委員	(就任挨拶)

委員長	続いて、本日の傍聴の可否について、傍聴希望者の入室を許可してよろしいか。
委員	(賛成全員)
委員長	傍聴希望者の入室を許可する。

議題2 「会議の公開等に関する要領(案)」について

資料③ 会議の公開等に関する要領(案)

事務局	(会議の公開等に関する要領(案)について、資料により説明)
委員長	この案について、ご意見いかがか。
委員	(賛成全員)
委員長	本委員会の会議の公開等に関する要領はこの通りとする。

議題3 事業の概要について(学校建替基本方針策定)

資料④ 事業の概要 説明資料

資料⑤ 参考資料 学校教育系施設個別施設計画

学校適正規模・適正配置に関する基本計画

事務局	(学校建替基本方針策定事業の概要について、資料により説明)
委員	検討内容について次回以降いきなり各論に入るが、各務原らしい基本的な理念や考え方については既に十分に定まっているということか。各論に入る前に定める必要はないか。
事務局	個別施設計画の目指すべき姿に一部まとめられているが、より具体的に審議していただく必要はある。
委員	学校の先生への負荷が大きくなっている現状もある。様々な課題について、具体的に検討できる資料があると議論が進む。
事務局	次回以降、具体的な検討が行えるような資料をご準備させていただく。
委員	小学校と中学校を分けて考える必要はないか。
事務局	基本的には一緒に考えてもらいたいが、検討を進めていく中で、分けて考えた方がよい場合がでてくる可能性はある。柔軟な検討をお願いしたい。
委員	どんなことを検討するのか、全体を把握できていない。本方針では建替についてどのようなことを検討するのか。
事務局	各務原市はこれまでに様々な計画を定めている。個別施設計画では築年数や施設の老朽化面での検討を行っている。適正規模・適正配置では、現在の学校の配置を維持するが、学校の状況によっては注視が必要となることを定めている。本方針では、学校を建て替えるのであれば、どのような学校がいいのか

	を各務原市としての共通の方向性を定める予定である。 どの学校を統廃合するのかというような検討は本方針では行わない。
委員	事前に資料はもらえるか。
事務局	議論するための資料を作成し、事前にお渡しする。
委員	支援業者によって内容がかわってきってしまう恐れはないか。
事務局	学校施設の基本計画等の経験がある業者を選定する。 業者はあくまで支援であるので、事務局側が主体で内容を精査する。
委員	デジタルツールを用いた授業など、ICT の面が将来大きく変わってくる ことが考えられる。 技術的な方面の専門家の意見をきく必要はないか。
事務局	現場寄りの視点として小中学校の校長先生にも参加していただいている。 現場目線でのご意見を今後いただけたらと思う。
委員	事務局の体制が途中で変わることはないか。
事務局	少なくとも、学校建替基本方針を定めるまでの 3 年間は変わる可能性 は低いと考えている。
委員	この方針では、学校の配置や統廃合、具体的な施設の細かい検討ではなく、 「建て替えをしたらどのような学校がいいか」という基本的なところの検討のみ を行うという理解でよろしいか。 児童生徒が少なくなった場合など、様々なケースや条件を考える必要はないか。
事務局	この方針では、まずは基本的な学校建て替えの方向性を定めることを想定している。 学校の規模や適正化について具体的な検討はしない。委員会の開催は 15 回程度 を想定しており、一回ごとのボリュームは多くなると思われる。
委員	具体的にひとつひとつの学校についてどのような学校にするか、検討する ということか。
事務局	ひとつひとつではなく、各務原市の学校はどのようなものがあるかをご審議 いただきたい。必要に応じて各学校の状況についても触れていきたい。
委員	会議資料では、体育館が防災拠点として挙げられているが、地域によっては 教室も防災の拠点となりえる。 地域の人にとって使いやすい学校とはどんな学校か、等 学校の施設というものをイメージしやすい資料があるとよい。
委員長	検討内容を施設ごとのパーツでわけのではなく、何かテーマでグルーピング した方が議論しやすいのでは。 具体的な例もあった方が、議論しやすい。

事務局	いくつか学校をピックアップして、その状況を交えながら具体的に議論ができるような資料をご準備したい。
委員	市内外問わず、いろいろな学校を見てきたが、非常に多岐にわたる課題を抱えているのが現状。様々な現状を見ながら、もし建て替える時期がきたときに、例えば、このような学校がいいのではないか、いろいろ条件は異なるが、このような方向性がいいのではないか、これはぜひ取り入れてほしいというようなことを検討していけるような場になるといい。現状がある中で、よりよい学校施設について検討していきたい。
委員	地域の方からも児童生徒と一緒に学ぶ機会が求められている。 そういった点で、学校というものは地域からも非常に支えられている存在であることを実感している。 加えて、学校というものに求められる役割というものは非常に多くなってきている。いろいろな立場の方が参加されているので、多角的な視点から学校施設について検討していきたい。
委員	実際に建て替えをする段階になると、その地域の条件や現状の問題を把握しながら、一つ一つ組み立てていくことになるが、この方針では、各務原らしい学校施設の空間やビジョン、質といったものを示していくことになると思う。しかし、地域によって条件が異なり、いくつかのパターンが存在する。 検討する中で、小規模校なのか通常規模なのか等、大まかなパターン分けをして進めていった方がいい。委員会での検討を進める中で、留意点としてそういったパターンはあってもいいのではないか。 小学校における教育のあるべき姿があり、それを受けて中学校にどのような発展させていくか。発達過程に応じて、求められるものが異なってくる。そしてそれが連動していることが望ましい。 この方針では、「可能性がある」というものを示し、その優先順位については各地域の学校で予算に応じ議論を進めていただくようにしたらどうか。 全体としてのこの方針の位置づけ、建て替え時にどのようにこの方針を使っていくのかというコンセンサスも必要。
委員	学校には、児童生徒の学びの場、地域の人々の学びの場、子どもたちの生活の場、地域交流の核など様々な役割がある。 視点を変えると別の見方がたくさんできる。多くの視点で学校施設をとらえる必要がある。視点をいくつか挙げていただけたら議論しやすくなる。
委員長	検討内容については、次回までに事務局側で精査していただくという

	<p>ことをお願いしたい。パーツごとに考えるのではなく、ある程度なんらかのテーマで分類した方が委員会としても議論が進みやすいと思う。</p>
事務局	<p>検討内容については次回までに精査し、検討内容案を提示させていただく。</p>

### 3. 今後のスケジュール

事務局説明	<p>(今後のスケジュールについて説明)</p> <p>(次回以降の日程については近日中調整し、ご連絡する旨を説明)</p>
-------	--